

宜野湾市史第四卷資料編三  
宜野湾関係資料 I

目次

口 絵	
発刊のことば	宜野湾市長 安次富 盛信
発刊のあいさつ	編集委員長 知念 清一
目次	
凡例	
序章 総説——本巻を読む前の予備知識	
第一章 宜野湾とおもろ・おもろ主取	一
一 おもろ概説	三
I 成立と再編	三
II 形式	六

III ふし名	七
IV 宜野湾関係おもろ	九
V 略号符	二〇
二 おもろ原文—語釈と解説	三
1 しよりちよわちへからしまのぬしてだがふし (五ノ六四)	三
2 しよりゑとのふし(二三ノ一五七)	四
3 ふし名なし(二四ノ二)	七
4 さばちこがおもろのふし(二五ノ四三)	三〇
5 やまきたらすゞべがふし(二五ノ四四)	三三
6 うちいではさばちこがふし(二五ノ四五)	三三
7 しよりもりちよわるみかなしてだがふし(二五	三五

ノ四六	……………	三四
8	大にしのたらつがふし(一五ノ四七)	三六
9	うちいでしよりふくじきようがふし (一五ノ四八)	三六
10	大にしのたらつがふし(一五ノ四九)	三〇
11	大にしのたらつがふし(一五ノ五〇)	三三
12	うらおそいおもしろのふし(一五ノ五一)	三六
13	うらおそいおもしろのふし(一五ノ五二)	三七
三	おもろ主取家元祖由来記(解題)	四〇
I	神歌主取の職能	四〇
II	神歌主取の家々	四六
III	書誌と成立	五〇
四	おもろ主取家元祖由来記(本文)	五三
第二章	『琉球国由来記』・『琉球国旧記』および関 連史料の中の宜野湾	五三

II	卷之四 事始	一〇六
III	卷之六 中頭	一〇七
IV	卷之七 神社	一〇八
V	附卷之一 神殿	一一〇
VI	附卷之三 山川 嶽森威部	一一二
VII	附卷之四 泉井	一一三
VIII	附卷之五 江港	一一三
IX	附卷之八 火神	一一三
X	附卷之九 (鐘銘)	一一三
XI	附卷之十 郡邑	一一三
XII	附卷之十 郡邑長	一一三
XIII	附卷之十 駅	一一四
四	『球陽 外卷一 遺老説伝』	一一五
五	『真志喜のろこもい文書』(佐喜真家文書)	一一六
第三章	家譜史料にみる宜野湾	一一三

一	全体解説	一五五
I	『琉球国由来記』	一五五
II	『琉球国旧記』	一五六
III	『球陽外卷・遺老説伝』	一五七
IV	『真志喜のろこもい文書』	一五七
二	『琉球国由来記』	一六九
I	卷一 王城之公事九月	一六九
II	卷二 (官爵列品) 官爵位階職之事	一七〇
III	卷二 (官爵列品) 諸間切諸島夫地頭設理ヲ エカ人之事	一七一
IV	卷四 (事始 坤) 宝貨門	一七二
V	卷五 (城中御嶽併首里中御嶽年中祭祀) 首里中火神並御嶽之事	一七三
VI	卷十一 (密門諸寺縁起)	一七三
VII	卷十四 (各処祭祀三)	一七七
三	『琉球国旧記』	一七五
I	卷之三 公事	一七五

一	全体解説	一三五
I	家譜史料とは	一三五
II	家譜の内容	一三八
III	士族について	一四二
二	宜野湾間切の地頭	一四四
I	地頭とは何か	一四四
II	宜野湾間切の地頭とその変遷	一四五
三	家譜史料より	一四五
I	解説	一四五
II	比屋川原橋の創建(一六八六年)	一四五
III	王世子尚純、還愿の儀をなす (一七〇〇年)	一五七
IV	城田地頭任職についての言上写 (一七四九年)	一六六
V	検者への褒書(一八五六年)	一七三
第四章	古文書にみる宜野湾	一七三

一 全体解説……………一六二

二 「球陽」および「中山世鑑」の関係記事……………一六三

I 「球陽」解説……………一六三

II 「球陽」中の記事……………一六四

1 察度王伝……………一六四

2 始めて宜野湾郡を置く(一六七一年)……………一六九

3 謝名邑の真志喜、田地を墾闢し、幸に褒章を蒙り、年に切米を賜う(一六八二年)……………一七〇

4 宜野湾郡に佐喜真夫地頭所を設置する(一六八一年)……………一七〇

5 宜野湾邑の津波は、生質至孝以て褒嘉を蒙る(一七三四年)……………一七二

6 野嵩邑の島袋、賦性至孝にして、幸に褒嘉を荷く(一七三四年)……………一七四

7 宜野湾郡に下知役を建つるを准す(一八二九年)……………一七五

8 宜野湾郡の下知役を罷退す(一八四四年)……………一七五

9 宜野湾郡に指揮司を設立す(一八五九年)……………一七六

10 本年二月二十八日、雷、宜野湾郡嘉数村・今帰仁郡の林籍等の処に震ふ(一八六九年)……………一七六

11 王、始めて普天間神社に拝謁す(一六四四年)……………一七九

III 「中山世鑑」中の察度王伝……………一八〇

III 行政関係資料……………一八〇

I 村数・戸籍・人口・地誌……………一八〇

1 一八二〇年ごろの村数……………一八〇

2 一八七三年の村数・人口……………一八〇

3 一八七三年の村数・戸数・人口……………一八〇

II 村位・里積り・反別・貢納・貯穀……………一八二

1 慶長検地の村位と石盛……………一八二

2 宜野湾間切の村位……………一八二

3 宜野湾間切よりの里積り……………一八二

4 出米の例及び中頭方諸間切の出米……………一八三

5 中頭方諸間切の納砂糖高……………一八三

6 一八七三年の反別・貢納……………一八四

7 宜野湾(浦添)間切の各村の石高……………一八四

8 一八七三年の貯穀……………一八六

III 家禄・領地・知行・俸禄……………一八八

1 宜野湾間切関係士族の家禄と領地……………一八八

2 宜野湾間切関係のろくもい役俸……………一九〇

3 宜野湾間切役人の役俸……………一九〇

4 宜野湾番所の役人……………一九〇

5 神宮寺仮知行・普天間宮俸禄……………一九三

6 神宮寺物成……………一九三

7 普天間祝部・内侍・宮童の役俸……………一九四

8 一八二〇年ごろの寺院の役知……………一九五

9 宜野湾の馬番・村佐事・島文字……………一九五

IV 田里筑登之親雲上渡唐準備日記……………一九六

四 辞令書……………一九七

1 解説……………一九七

2 普天間里主所給賜辞令書(一八二五年)……………一九七

3 安良城名島給賜辞令書(一八六四年)……………一九七

4 新城里主所給賜辞令書(一八六七年)……………一八三

5 真志喜里主所給賜辞令書(一八六九年)……………一八四

五 雑文書……………一八五

1 御用酒壺破損につき罰金(一六七四年)……………一八五

2 「中山伝信録」の中の宜野湾間切(一七一九年)……………一八六

3 近世地方経済史料にみる宜野湾……………一八七

4 検者の詰越願(年代不明)……………一八七

5 宜野湾間切の村名(年代不明)……………一九〇

6 普天間神宮所有文書……………一九〇

六 「年貢帳」……………一九三

I 解説……………一九三

II 「年貢帳」原文……………一九四

七 「琉球資料」所収の証文類……………一九七

I 解説……………一九七

II 「琉球資料」九三所収の証文類……………一九七

1	解説	二六四
2	玉那覇筑登之の模合請取証文(申五月)	二六六
3	新垣にやの模合請取証文(申六月)	二六七
4	たら島袋の模合請取証文(申七月)	二六七
5	桑江子の模合請取証文(戌三月)	二六七
6	照屋子の模合請取証文(戌四月)	二六八
7	むた宮城の模合請取証文(戌八月)	二六八
8	喜屋武子の模合請取証文(戌九月)	二六八
9	照屋筑登之親雲上の模合請取証文 (戌九月)	二六九
10	「御物取」の模合請取証文(戌十月)	二六九
11	「御物取」の模合請取証文(戌十一月)	二七〇
12	久田筑登之の模合請取証文(戌十二月)	二七〇
13	国頭子の模合請取証文(亥正月)	二七〇
14	名代・照屋子仁王の模合請取証文 (亥二月)	二七〇
15	「模合人数中」の模合請取証文 (亥三月)	二七二
16	浦添若按司の地方代銭請取証文	二七二
9	田場里之子親雲上の借金証文(巳十月)	二六三
10	勢理客子の借金証文(一八八二年)	二六三
11	楚南村人の金子受取証文(一八八六年)	二六四
12	仲程しの借金証文(申四月)	二六四
13	名幸筑登之親雲上の借金証文 (申十二月)	二六五
14	我如古磨津の借金証文(一八九八年)	二六五
15	楚南村下知人の就任訴(酉十月)	二六六
16	宮平筑登之の借金証文(戌三月)	二六七
17	田方小作証書(一八九八年)	二六八
18	松木伐採許可願(一八八七年)	二六八
V	「琉球資料」九六所収の証書類	二六九
1	解説	二六九
2	福地にやの借金証文(一八一四年)	二九一
3	仕明請地認可証文(一八一六年)	二九二
4	かま親富祖の借金証文(子十一月)	二九三
5	とこ知花の借金証文(子二月)	二九三
6	かま島袋の身売証文(子九月)	二九三
7	三良伊波の借金証文(子十月)	二九三

17	勢理客親雲上の預り証文(口十二月)	二七二
18	親富祖筑登之の預り証文(辰三月)	二七三
III	「琉球資料」九四所収の証書類	二七三
1	解説	二七三
2	嘉数親雲上の借金証文(年代不明)	二七三
3	惣慶村の上納物送状(一八八三年)	二七三
4	山元里之子親雲上の請取証文 (戌十二月)	二七四
5	田場里之子親雲上の借金証文(申六月)	二七四
IV	「琉球資料」九五所収の証書類	二七五
1	解説	二七五
2	田方名義変更の差出(丑正月)	二七六
3	田方名義変更の差出(丑正月)	二七七
4	仕明請地の下賜許可(一八四〇年)	二七九
5	田場里之子親雲上の借金証文(丑三月)	二八一
6	仕明知行讓渡証の預り状(丑九月)	二八一
7	金城筑登之の借金証文(寅十月)	二八二
8	金城筑登之の借金証文(寅十一月)	二八三
8	新城筑登之の借金証文(丑正月)	二八四
9	新城筑登之の借金証文(丑四月)	二八四
10	伊波筑登之の借金証文(丑九月)	二八四
11	田場里之子親雲上の借金証文(丑八月)	二八五
12	伊波筑登之の借金証文(丑九月)	二八五
13	渡名喜里之子親雲上の借金証文 (丑十一月)	二八六
14	新城筑登之の借金証文(丑十二月)	二八六
15	金城筑登之の借金証文(寅二月)	二八六
16	安和蒲土の借金証文(寅三月)	二八七
17	かま等の借金証文(寅四月)	二八七
18	譜久原筑登之の借金証文(寅六月)	二八八
19	金城筑登之の借金証文(寅六月)	二八九
20	譜久原筑登之の借金証文(寅七月)	二八九
21	平良筑登之親雲上の借金証文(寅九月)	二八九
22	伊波筑登之の借金証文(寅十月)	二九〇
23	勢理客筑登之親雲上の借金証文 (卯正月)	二九〇
24	むた知花の借金証文(卯正月)	二九〇

25	金城筑登之の借金証文(卯三月)	三〇一
26	仕明請地の許可願(一八五五年)	三〇二
27	金城筑登之の借金証文(卯七月)	三〇三
28	伊波筑登之の借金証文(卯七月)	三〇三
29	金城筑登之の借金証文(卯八月)	三〇三
30	知花筑登之の借金証文(卯九月)	三〇四
31	伊波筑登之の借金証文(一八七九年)	三〇四
32	翁長里之子親雲上の借金証文 (卯十一月)	三〇四
33	伊波筑登之の借金証文(卯十二月)	三〇五
34	勢理客筑登之親雲上の借金証文 (一八八〇年)	三〇五
35	やま知念の借金証文(辰五月)	三〇六
36	かま島袋の身売証文(巳正月)	三〇六
37	金城筑登之の借金証文(巳二月)	三〇七
38	豊里筑登之親雲上の借金証文(巳三月)	三〇七
39	かめ伊波の借金証文(巳十二月)	三〇八
40	伊波筑登之の借金証文(巳十二月)	三〇八
41	嘉数筑登之親雲上の借金証文(午八月)	三〇九

III 土地整理以降……………三二四

二 探偵・視察記録……………三二六

1	収録史料概要……………三二六
2	琉球処分期の民情探偵報告……………三二六
3	上杉県令の宜野湾視察……………三二九
4	尾崎三良の宜野湾視察……………三三五
5	岩村通俊の宜野湾間切吏員との対談……………三三七

三 『沖繩県日誌』中の宜野湾関係史料……………三三三

1	収録史料概要……………三三三
2	警察分署の設置と所轄区域の変更(明治十三年 五月三日)……………三三四
3	貢糖皆納に付、残砂糖売却の許可請願(明治十 三年五月二十日)……………三三四
4	間切戸籍調査費の立替え請願(明治十三年五月 二十日)……………三三四
5	貢租の石代上納請願(明治十三年六月 二十日)……………三三四

42	伊波筑登之の借金証文(午八月)	三〇九
43	仲程子の借金証文(未正月)	三〇九
44	嘉数村与中の借金証文(酉二月)	三〇〇
45	棚原筑登之の借金証文(戌九月)	三〇〇
46	むた宜野座等の借金証文(戌十二月)	三〇一
47	伊江島百姓中の借金証文(亥七月)	三〇一
48	金城筑登之の借金証文(亥八月)	三〇二
49	田場盛号の委任状など(一八七九年)	三〇三

第五章 宜野湾の近代史料……………三二五

一 全体解説……………三二七

I 琉球処分期……………三二七

1	前半(第一段階)……………三二七
2	後半(第二段階)……………三二八

II 旧慣温存期……………三二九

1	初期(一八七九〜一八八三)……………三二九
2	中期(一八八四〜一八九五)……………三三一
3	後期(一八九六〜一九〇三)……………三三三

6	番所在勤官の廃止、新設役所への事務引継の 件に付、伺(明治十三年六月二十四日)……………三三六
7	公文発送に関する仮規則の改定(明治十三年七 月七日)……………三三六
8	各間切配布済みの暦の残部数代金の金額収納 指示(明治十三年九月一日)……………三四九
9	村吏、年季交代のため辞職願(明治十三年十月 五日)……………三五〇
10	貢租(麦)の石代納出願を許可されたき旨請願 (明治十四年五月十二日)……………三五〇
11	小学校設立の出願を許可されたき旨上申(明治 十四年五月二十一日)……………三五二
12	中頭役所の宜野湾間切移転に付、役所員の県 庁出頭の際、伺不要(明治十四年六月 二十二日)……………三五三
13	宜野湾村平民・渡慶次太郎ら、焼酎販売営業し たき旨出願(明治十四年七月二十三日)……………三五三
14	宜野湾村平民宮城鍋の妻、家財焼失・家族焼 死により救助出願(明治十四年八月

十三日)	.....	三三
15 宜野湾間切外十間切、租税の石代納を出願(明治十四年九月一日)	.....	三五
16 砂糖樽製造用の帯竹を減額し、すでに納済みの分は代金にて返却(明治十四年九月一日)	.....	三五
17 宜野湾間切外十間切、砂糖樽製造資本として二千三百余円の無利子拝借を出願(明治十四年十月十三日)	.....	三五
18 中頭役所を宜野湾番所内に併設するに付、借家料を学校費の補助に充てた旨請願(明治十四年十二月二十八日)	.....	三五
19 宜野湾間切等、焼過糖を抵当として砂糖製造資本金の拝借を出願(明治十四年十二月二十六日)	.....	三五
四 地方自治関係史料	.....	三五
1 収録史料概要	.....	三五
2 租税滞納処分―内法の―	.....	三五

3 製糖取締規定―内法の―	.....	三六一
4 間切・村の集会	.....	三六五
5 沖縄県及び島嶼町村制	.....	三六八
6 町村書記定員	.....	三六九
五 土地整理関係資料	.....	三七一
1 収録資料概要	.....	三七一
2 明治二十三(一八九〇)年地租改正案	.....	三七三
3 沖縄県土地処分	.....	三六八
4 土地整理事務局訓令第一号	.....	四〇七
5 施行に関する協議決定事項	.....	四〇八
6 沖縄県土地整理法説明	.....	四〇四
7 土地整理事務局達第四号	.....	四〇五
8 土地調査出張員心得	.....	四〇九
9 地押調査手続	.....	四一一
10 土地整理紀要(抄)	.....	四〇六
11 宜野湾間切小字名	.....	四〇四
補章 銘文と碑文	.....	四〇七

I 小禄石棺の銘文(二四九四年)	.....	四〇七
II 西森碑記(一七二五年)	.....	四〇六
III 大山御嶽の碑文(一七六一年)	.....	四〇一
付録1 宜野湾関係歴史年表	.....	四〇五
2 宜野湾間切の村落変遷	.....	四〇三
3 読史地図	.....	四〇一

宜野湾市史編集委員会名簿  
 宜野湾市史編集日誌  
 編集後記